

平成29年度
事業報告

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

I 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

1. 設立年月日

平成13年5月10日（法人登記 平成22年12月22日）

2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・ 良質な医療を確保する
- ・ 保険料を効率的に活用する
- ・ 保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにあり、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 保険者機能に関わる各種調査・研究等
- ② 組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラル向上のための研修等
- ③ 公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④ 保険者機能を効果的、効率的に発揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤ その他、定款に定める目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

種 類	平成30年3月末	平成29年3月末	増 減
正 会 員	96組合	91組合	5組合増
準 会 員	1団体	2団体	1団体減

5. 事務所の状況

主たる事務所：東京都千代田区神田北乗物町 11 番地 乗物町第一ビル 4 階

電話番号 03-5577-5411 F A X 03-5577-5413

E-mail hokensha@kino-suishin.org

ホームページ <http://www.kino-suishin.org/>

6. 役員等に関する事項（平成30年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
代表理事会長	小 玉 道 雄	非常勤	日本アイ・ビー・エム 健康保険組合 理事長
代表理事副会長	鵜 飼 雅 信	非常勤	クラクソ・スミスクライン 健康保険組合 常務理事
理事副会長	青 山 尚 弘	非常勤	リクルート健康保険組合 常務理事
理事副会長	木村(沼越)園子	非常勤	日本ビューレット・ハッカート 健康保険組合 常務理事
理事副会長	篠 原 正 泰	非常勤	富士フイルムグループ 健康保険組合 常務理事
理 事	飯 住 宗 広	非常勤	丸 井 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	宇 治 野 進	非常勤	三 菱 電 機 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	宇 田 川 昭 彦	非常勤	ヤマトグループ健康保険組合 常務理事
理 事	内 田 好 宣	非常勤	日 立 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	太 田 芳 文	非常勤	近畿日本ツーリスト健康保険組合 常務理事
理 事	加 藤 進 治	非常勤	パナソニック健康保険組合 常務理事
理 事	児 玉 成 志	非常勤	花 王 健 康 保 険 組 合 理事長

理事	武内俊明	非常勤	イオン健康保険組合 常務理事
理事	藤代勉	非常勤	三菱健康保険組合 常務理事
監事	井崎恵介	非常勤	東京海上日動健康保険組合 理事長代理
監事	熊木健次	非常勤	ニコン健康保険組合 常務理事

(注) 1. 平成29年度中に就任した監事

平成30年3月22日開催の第15回定時社員総会において、新たに熊木健次氏が監事に就任いたしました。

2. 平成29年度中に退任した理事及び監事

退任日	氏名	退任時の役職
平成29年11月30日	原啓明	監事 ニコン健康保険組合常務理事
平成30年3月31日	長嶺秀一	理事副会長 太陽生命健康保険組合常務理事

3. 特別顧問の委嘱

平成28年度第4回定例理事会の議決を得て委嘱された特別顧問・アドバイザーが在任中です。

- 特別顧問 武田節夫 (初代事務局長)
- 特別顧問 安倍孝治 (第3代会長)
- 特別顧問 満生忍 (第4代会長)
- 特別顧問 徳永一夫 (第5代会長)
- アドバイザー 平方博子 (第3代事務局長)

7. 職員に関する事項

職員数	職種	勤続年数
1名	事務局長	3年

Ⅱ 事業の状況

1. 事業の経過及び成果

(1) 会員数の動向

平成29年度末の正会員は、前年度末91健保組合であったのに対して、年度中に5健保組合が増加し96健保組合になりました。準会員は、1団体減少し、1団体となりました。

(2) 財務状況

平成29年度の正味財産合計は、前年度から4,605円減少した7,143,873円になりました。正味財産のうち、現預金は5,430,973円でした。会員数増加の影響もあり、現預金は前年度から369,375円増加しました。

経常収益は、前年度から963,451円増加して17,168,928円になりました。会員数の増加により受取会費が733,000円増加したことが主たる要因となります。事業費収入は、第6回保険者機能推進全国大会でも、研究成果を発表する研究会に所属する健保組合一般職員を無料招待いたしました。また、たばこ対策研究会のシンポジウム開催の影響もあり、前年比180,950円増加となりました。

経常費用は前年度から1,121,276円増加して17,103,533円になりました。事業費は4,598,817円で、前年度比ほぼ同等の40,286円の減少となりました。また、給与手当は前年度比1,212,082円減少となっておりますが、これは主に前年度は引継ぎの為の事務局二名体制の時期があったためです。また、会員数増加や事業拡大による事務局負担増加に伴い、年度途中から派遣社員と契約いたしました。それに伴う業務委託費として1,683,329円が計上されました。なお、全国大会準備に関わる人件費相当分の給与手当、および業務委託費の一部を、事業費支出に振替をおこなっています。そちらにつきましては、計算書類の収支計算書に関する注記に記載しておりますので、ご参照下さい。また、会全体としての活動の活発化、効率化のため、年度途中からオンラインストレージ「どこでもキャビネット」を採用いたしました。その費用はシステム管理費に計上されておりますが、前年度比59,400円増加とほぼ同等の支出となっております。これは、平成28年度にセキュリティ強化のためにホームページ委託先を変更したことによる一時費用が発生していたため、新規のサービスを導入したにも関わらず、結果として前年比ではほぼ同等レベルの結果となりました。事務所家賃につきましては、平成

29年4月1日より大竹リース株式会社との契約が改定されたため、前年比445,500円増加となりました。

正味財産期末残高7,143,873円は、受取会費の52%相当です。また現金預金の期末残高は受取会費の39%相当で、内部留保額として適正と考えます。

(3)研究会活動

平成29年度は、レセプト・健診データ分析研究会、健診事業のあり方研究会、特定保健指導応用研究会、女性の健康研究会、シニアの健康研究会、たばこ対策研究会、ポピュレーションアプローチ研究会、柔整問題研究会、くすり研究会、扶養認定基準研究会の10の研究会が設置され、平成29年6月20日に健保連東京連合会大会議室で開催された平成29年度研究会活動計画発表会にて、これら全ての研究会が本年度の活動計画を発表しました。

このうち、ポピュレーションアプローチ研究会は、本年度から新たに設置された研究会であり、「一人ひとりの健康意識の向上」「組織としての健康づくりの風土醸成」等を目的として、広報、インセンティブ、健康教育等の成功事例の共有や各健保の特性に適った効果的な方法論の探求等を行っています。

特定保健指導応用研究会とシニアの健康研究会は、平成29年12月19日に健保連東京連合会大会議室で合同講演会を開催しました。健保連保健部保健事業グループの春木匠氏を講師にお招きして、第1部「情勢報告」、第2部「第2期データヘルス計画について」の2部構成で高齢者医療制度やデータヘルス計画の留意点等につきお話いただき、それぞれの分野につき理解を深めました。

女性の健康研究会は、平成30年1月26日と2月2日にノバルティス健康保険組合の会議室で2回に亘り講演会を開催しました。第1回は同研究会のアドバイザーである対馬ルリ子先生による「女性に多い健康トラブルとその予防法」、第2回はたばこ対策研究会のアドバイザーである高橋裕子先生による「女性のたばこ対策」というそれぞれのテーマでお話いただき、女性の健康に関する知識と理解を深めました。

たばこ対策研究会は、平成29年12月6日に日比谷コンベンションホールで「第5回職場におけるたばこ（喫煙）対策を考える会」を開催しました。特別講演として東京都医師会会長の尾崎治夫先生、基調講演として同研究会のアドバイザーである日本禁煙科学会理事長の高橋裕子先生にそれぞれお話しいただいた他、職場のたばこ対策事例発表やトレンド情報の提供等に加えてパネルディスカッションも実施し、大変充実した内容となりました。

柔整問題研究会は、参加メンバーだけでなく外部団体との交流を積極的に行っており、本年度は平成29年5月19日と9月22日に川村義肢株式会社と治療用装具勉強会を実施、平成29年7月22日に療養費適正化研究会の療養費適正

化勉強会に参加、平成29年11月12日に日本臨床整形外科学会シンポジウムに参加、平成30年2月10日に大阪府柔道整復師会の大阪保険講習会に参加する等の活動を行いました。

そして、平成30年3月22日に健保連東京連合会大会議室で平成29年度研究会活動報告会を開催し、全ての研究会が本年度の活動成果を発表しました。既に述べた研究会に限らず、どの研究会もそれぞれに具体的な成果をあげており、当研究会活動は本会の中核的な事業であると言うにふさわしいものとなっています。

(4) 第6回保険者機能推進全国大会

第6回目となる保険者機能推進全国大会を平成29年11月27日に星陵会館にて「持続可能な医療保険制度のあり方」というテーマを掲げて開催しました。このテーマを取り上げるにあたり「医療経済の視点からの提言」という副題にて一橋大学経済学研究科の佐藤主光教授より基調講演をいただき、医療制度の持続性に関し医療経済の視点から問題を提起していただいたうえで、我々が取り組むべき保険者機能の強化につきご教授いただきました。

そして後半には、レセプト・健診データ分析研究会、シニアの健康研究会、くすり研究会の3研究会が成果発表を行いました。レセプト・健診データ分析研究会は①全年齢の健診データを用いた自健保の特徴分析、②保健事業の成功要因の抽出検討、③第2期データヘルス計画の「共通指標」の先行活用の中間状況について、シニアの健康研究会は①加入者への啓発資料（納付金のしくみ、健康への注意点等）、②健保のシニア向け保健事業の手引きについて、くすり研究会は①ジェネリック薬の数量シェア70%のノウハウ開発、②セルフメディケーションの浸透策展開、③多剤処方対策&リフィル処方提案、④良質なコンコウダンス患者のためのマニュアル提供についてそれぞれ発表しました。

(5) 医療保険制度ゼミナール

当ゼミナールは、本会の基本機能である「保険者機能の推進」を軸に、行政、アカデミア・医療提供側・患者支援団体・メディア等の保険者を取り巻くステークホルダーに講義をお願いし、それを通じバランス感覚を持って将来に提言ができる保険者を育てることを目指しています。常務理事・事務長・役職者等の健保マネジメントに携わる方を中心に、資料の事前読み込みを行って、予め課題をもって参加することを前提としています。また一方通行の講義でなく、質疑・ディスカッションの時間を十分にもうけ、多面的な見方があることを実感できる形としています。本年度は以下のテーマで4回開催しました。

第13回「患者の課題と保険者機能に期待すること」（患者支援団体）

- 第14回「こうなる！ 2025年のシニアライフ」(アカデミア)
第15回「高齢社会への対応 ～健康医療データ・AI等の活用～」(経産省)
第16回「メディアが切り込む医療保険制度の実相 ～『砂上の安心網』取材現場からの報告～」(メディア)

(6)基礎知識研修会

当研修会は、主に一般職員を対象として時節柄関心の高いテーマをその都度取り上げ、年間2～4回開催しています。テーマの選定や研修会の開催に当たっては、会員健保から募った運営委員による運営委員会を設置し、会員健保のニーズに応えられるよう検討を行ったうえで運営しています。本年度は以下のテーマで2回開催しました。

平成29年度第1回「家族のヘルスリテラシーを高めるためには ～事例とともに考える～」

平成29年度第2回「コラボヘルスはこう進めよう ノウハウ/ドゥハウ」

(7)常務理事ゼミナール

当ゼミナールは、レクチャーではなくその回のテーマに基づき参加者間の情報共有と意見交換を中心とした2時間程度の自主勉強会となっています。本会の事務局会議室で毎月1回定期的に開催しており、取り上げるテーマは2.(3)項に記載したとおり時期や身近な話題を取り入れて議論をしています。本年度は予算編成等により多忙となる1月以外の毎月行われ、11回の開催となりました。

2. 事業の実施状況

(1)研究会

① レセプト・健診データ分析研究会

- 第1回 平成29年4月24日 オリnpas健康保険組合
第2回 平成29年5月17日 石油製品販売健康保険組合
第3回 平成29年6月1日 オリnpas健康保険組合
第4回 平成29年7月18日 コマツ溜池ビル
第5回 平成29年8月24日 オリnpas健康保険組合
第6回 平成29年9月13日 オリnpas健康保険組合
第7回 平成29年10月5日～6日(合宿) 伊豆高原 五景館高陽楼
三菱電機健康保険組合

- 第8回 平成29年11月6日 健保連東京連合会
- 第9回 平成29年12月11日 グラクソ・スミスクライン健康保険組合
- 第10回 平成30年1月17日 オリジナル健康保険組合
- 第11回 平成30年3月7日 オリジナル健康保険組合

② 健診事業のあり方研究会

- 第1回 平成29年5月24日 本会事務所
- 第2回 平成29年6月22日 本会事務所
- 第3回 平成29年7月27日 本会事務所
- 第4回 平成29年8月24日 本会事務所
- 第5回 平成29年9月21日 丸井健康保険組合
- 第6回 平成29年10月19日 本会事務所
- 第7回 平成29年11月16日 丸井健康保険組合
- 第8回 平成29年12月21日 本会事務所
- 第9回 平成30年2月15日 本会事務所
- 第10回 平成30年3月15日 本会事務所

③ 特定保健指導応用研究会

- 第1回 平成29年5月10日 小松製作所健康保険組合
- 第2回 平成29年6月14日 健保連東京連合会
- 第3回 平成29年7月19日 協和発酵キリン健康保険組合
- 第4回 平成29年9月11日 健保連東京連合会
- 第5回 平成29年10月18日 丸井健康保険組合
- 第6回 平成29年11月8日 ブリヂストン健康保険組合
- 第7回 平成29年12月19日 健保連東京連合会
- 第8回 平成30年1月17日 BIJ健康保険組合
- 第9回 平成30年2月28日 近畿日本ツーリスト健康保険組合
- 第10回 平成30年3月20日 栗田健康保険組合

④ 女性の健康研究会

- 第1回 平成29年4月21日 本会事務所
- 第2回 平成29年5月19日 本会事務所
- 第3回 平成29年6月16日 本会事務所
- 第4回 平成29年7月21日 ヤマトグループ健康保険組合
- 第5回 平成29年8月22日 本会事務所
- 第6回 平成29年9月15日 ヤマトグループ健康保険組合
- 第7回 平成29年10月20日 ヤマトグループ健康保険組合
- 第8回 平成29年12月15日 ヤマトグループ健康保険組合

- 第9回 平成30年1月26日 ノバルティス健康保険組合
- 第10回 平成30年2月2日 ノバルティス健康保険組合
- 第11回 平成30年3月6日 本会事務所

⑤ シニアの健康研究会

- 第1回 平成29年5月18日 丸井健康保険組合
- 第2回 平成29年6月14日 丸井健康保険組合
- 第3回 平成29年7月12日 丸井健康保険組合
- 第4回 平成29年9月13日 キリンビール横浜工場
- 第5回 平成29年10月6日 丸井健康保険組合
- 第6回 平成29年11月8日 ソニー健康保険組合
- 第7回 平成29年12月15日 パナソニックリゾート大阪
- 第8回 平成30年1月19日 日本航空健康保険組合
- 第9回 平成30年3月9日 テレビ朝日健康保険組合

⑥ たばこ対策研究会

- 第1回 平成29年5月9日 TDK柳橋倶楽部
- 第2回 平成29年5月26日 TDK柳橋倶楽部
- 第3回 平成29年6月9日 TDK柳橋倶楽部
- 第4回 平成29年7月14日 TDK柳橋倶楽部
- 第5回 平成29年7月21日～22日 MELONDIA あざみ野
- 第6回 平成29年9月8日 ノバルティス健康保険組合
- 第7回 平成29年10月13日 日本航空健康保険組合
- 第8回 平成29年11月10日 TDK株式会社本社
- 第9回 平成29年12月6日 日比谷コンベンションホール
- 第10回 平成30年1月12日 株式会社ニチレイ本社
- 第11回 平成30年3月23日 TDK柳橋倶楽部

⑦ ポピュレーションアプローチ研究会

- 第1回 平成29年5月17日 丸井健康保険組合
- 第2回 平成29年6月6日 丸井健康保険組合
- 第3回 平成29年7月6日 丸井健康保険組合
- 第4回 平成29年8月3日 丸井健康保険組合
- 第5回 平成29年9月20日 丸井健康保険組
- 第6回 平成29年10月12日 丸井健康保険組合
- 第7回 平成29年11月9日 丸井健康保険組合

- 第8回 平成29年12月7日 丸井健康保険組合
- 第9回 平成30年1月12日 日立健康保険組合
- 第10回 平成30年2月8日 丸井健康保険組合
- 第11回 平成30年3月8日 三越伊勢丹健康保険組合

⑧ 柔整問題研究会

- 第1回 平成29年4月28日 丸井健康保険組合
- 第2回 平成29年5月26日 丸井健康保険組合
- 第3回 平成29年6月23日 太陽生命品川ビル
- 第4回 平成29年7月24日 太陽生命品川ビル
- 第5回 平成29年9月15日 キリンビール横浜工場
- 第6回 平成29年10月23日 azbil グループ健康保険組合
- 第7回 平成29年11月17日 ブリヂストン健康保険組合
- 第8回 平成29年12月15日 花王すみだ事業場
- 第9回 平成30年1月19日 azbil グループ健康保険組合
- 第10回 平成30年2月16日 azbil グループ健康保険組合
- 第11回 平成30年3月16日 太陽生命神田ビル

⑨ くすり研究会

- 第1回 平成29年4月26日 日本ヒューレット・パカード健康保険組合
- 第2回 平成29年5月17日 国際興業健康保険組合
- 第3回 平成29年6月14日 ニチレイ健康保険組合
- 第4回 平成29年7月12日 小松製作所健康保険組合
- 第5回 平成29年9月13日 ノバルティス健康保険組合
- 第6回 平成29年10月11日 国際興業健康保険組合
- 第7回 平成29年10月20日－21日 (合宿) 小松製作所健康保険組合
城ヶ崎荘
- 第8回 平成29年11月15日 丸井健康保険組合
- 第9回 平成29年12月13日 ブリヂストン健康保険組合
- 第10回 平成30年1月17日 栗田健康保険組合
- 第11回 平成30年3月13日 関東ITソフトウェア健康保険組合

⑩ 扶養認定基準研究会

- 第1回 平成29年5月19日 丸井健康保険組合
- 第2回 平成29年6月16日 ノバルティス健康保険組合
- 第3回 平成29年7月20日 丸井健康保険組合

- 第4回 平成29年9月15日 TDK柳橋倶楽部
- 第5回 平成29年10月20日 日本ビューレット・パッカード健康保険組合
- 第6回 平成29年11月17日 丸井健康保険組合
- 第7回 平成29年12月15日 丸井健康保険組合
- 第8回 平成30年1月19日 TDK柳橋倶楽部
- 第9回 平成30年2月16日 TDK柳橋倶楽部
- 第10回 平成30年3月16日 ディスコ健康保険組合

(2)シンポジウム、研修会、発表会、ほか

月	日	行 事 名	会 場
4	25	第13回医療保険制度ゼミナール テーマ：患者の課題と保険者機能に期待すること 講 師：認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口育子氏	石油製品販売健康 保険組合3C会議 室
5	29	平成29年度 第1回基礎知識研修会 テーマ：家族のヘルスリテラシーを高めるため には ～事例とともに考える～ 講 師：国立がん研究センター 総合内科科長 大橋健氏 推進する会所属6健保の被保険者への取組み事 例発表 ①MSD健康保険組合 ②日本航空健康保険組合 ③グラクソ・スミスクライン健康保険組合 ④サノフィ健康保険組合 ⑤SGホールディングスグループ健康保険組合 ⑥花王健康保険組合	健保連東京連合会 3階大会議室
6	20	平成29年度 研究会活動計画発表会	電設健保会館5階 講堂
7	10	第14回医療保険制度ゼミナール テーマ：こうなる！2025年のシニアライフ 講 師：国際医療福祉大学 大学院 医療経営管理分野 教授 高橋泰氏	丸井健康保険組合 研修ルーム
9	14	第15回医療保険制度ゼミナール テーマ：高齢社会への対応 ～健康医療データ・AI等の活用～ 講 師：経済産業省 商務情報政策局 商務・サービス政策統括調整官 江崎禎英氏	健保連東京連合会 3階大会議室
10	10	平成29年度 第2回基礎知識研修会 テーマ：コラボヘルスはこう進めよう ノウハ ウ/ドゥハウ 1. 実効性のあるコラボヘルスの体制づくり (事例発表) ①ノバルティス健康保険組合 ②アメリカンファミリー生命健康保険組合 ③azbil グループ健康保険組合 2. コラボヘルスな保健事業のケーススタディ (事例発表)	健保連東京連合会 3階大会議室

		①エーザイ健康保険組合 ②丸井健康保険組合 ③日本航空健康保険組合	
1 1	2 7	第6回保険者機能推進全国大会 ・開会挨拶 会長 小玉道雄 ・来賓祝辞 厚生労働省保険局保険課長 安藤公一氏 健康保険組合連合会副会長 白川修二氏 ・基調講演 「持続可能な医療保険制度のために ～医療経済の視点からの提言～」 講師：一橋大学経済学研究科応用経済専攻 国際・公共政策研究部 教授 佐藤主光氏 ・研究会成果発表 ①レセプト・健診データ分析研究会 全年齢の健診データを用いた自健保の特徴分析 保健事業の成功要因の抽出検討 第2期データヘルス計画の「共通指標」の先行活用の中間状況 ②シニアの健康研究会 加入者への啓発資料（納付金のしくみ、健康への注意点等） 健保のシニア向け保健事業の手引き（留意点） ③くすり研究会 ジェネリック薬の数量シェア70%のノウハウ開発 セルフメディケーションの浸透策展開 多剤処方対策&リフィル処方提案 良質なコンコダンス患者のためのマニュアル提供	星陵会館 2階ホール
1 2	6	第5回職場における“たばこ（喫煙）対策”を考える会2017 ・特別講演 「受動喫煙防止条例とTOKYO2020」 講師：公益社団法人 東京都医師会 会長 尾崎治夫氏 ・禁煙トリビア パート1 ・トレンド情報 「ICTを活用した遠隔禁煙支援について」三越伊勢丹健康保険組合 「新型たばこについて」小田急グループ健康保険組合	日比谷コンベンションホール 大ホールB1

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演 「女性のための職場のたばこ（喫煙）対策について」 講師：日本禁煙科学会 理事長 京都大学大学院医学研究科 特任教授 高橋裕子氏 ・ 職場のたばこ対策事例発表 「たばこ対策現状分析ツールの活用」 ヤマトグループ健康保険組合 「禁煙サポート動画の活用事例」 花王株式会社 「たばこ対策における失敗例」 健保連京都連合会 ワコール健康保険組合 ・ 禁煙トリビア パート 2 ・ パネルディスカッション 「職場のたばこ対策 現状と今後」 	
1	1 1	<p>第 1 6 回医療保険制度ゼミナール テーマ：メディアが切り込む医療保険制度の実相 ～「砂上の安心網」取材現場からの報告～ 講 師：日本経済新聞社 編集局 社会部 次長 前村聡氏</p>	石油製品販売健康保険組合 3 C 会議室
3	2 2	平成 2 9 年度 研究会活動報告会	電設健保会館 5 階講堂

(3) 常務理事ゼミナール

月	日	開催テーマ	会場
4	19	保健事業	本会事務所
5	24	マイナンバー	本会事務所
6	21	コラボヘルス	本会事務所
7	19	決算	本会事務所
8	30	健康経営の発見の経緯とこれから	本会事務所
9	27	第2期データヘルス計画	本会事務所
10	18	被扶養者に対する健診受診・特定保健指導に向けての取り組み	本会事務所
11	15	健保運営にあたっての事業主とのコミュニケーション	本会事務所
12	20	がん検診への取り組み ～新たにするもの・したいものの～	本会事務所
2	21	レセプト点検の各健保の状況	本会事務所
3	28	2018年度予算策定のトピックス	本会事務所

3. 役員会等に関する事項

月	日	会 議 名	会 場
4	24	4月正副会長会議	本会事務所
4	24	平成29年度第1回(4月)定例理事会 決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度基礎知識研修会運営委員会の件 ・ 経理規程一部改訂の件 ・ 新入会員承認の件 ・ 第14回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・ 一般社団法人全国健康増進協議会(準会員)の件 ・ 平成29年度第2回(6月)定例理事会開催の件 	本会事務所
5	15	書面決議 新入会健保承認の件	—
5	22	5月正副会長会議	本会事務所
6	5	6月正副会長会議	本会事務所
6	5	平成29年度第2回(6月)定例理事会 決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度事業報告承認の件 ・ 第14回定時社員総会第1号議案(第7期(平成28年度)計算書類承認)の件 ・ 人材派遣契約および第14回定時社員総会第2号議案(第8期(平成29年度)予算変更)の件 ・ 研究会合同懇親会開催の件 ・ 第14回定時社員総会招集通知承認の件 ・ 平成29年度研究会活動計画発表会開催案内承認の件 ・ ロイヤル健康保険組合入会承認の件 ・ 研究会への学識経験者・外部事業者参加の件 ・ 平成29年度第3回扶養認定基準研究会へ健保連からの講師招聘の件 ・ 特定保健指導応用研究会セミナー開催の件 ・ 第15回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・ たばこ対策研究会によるシンポジウム開催の件 ・ 基礎知識研修会運営委員メンバー募集の件 ・ 会員向けアンケートの件 ・ 平成29年度第3回(9月)定例理事会開催の件 	本会事務所

6	20	第14回定時社員総会 報告事項 ・ 第7期（平成28年度）事業報告の件 ・ 監事の監査結果報告の件 決議事項 ・ 第1号議案 第7期（平成28年度）計算書類承認の件 ・ 第2号議案 第8期（平成29年度）予算変更の件	電設健保会館 5階講堂
7	7	7月正副会長会議	本会事務所
7	11	書面決議 新入会健保承認の件	—
7	24	書面決議 第15回医療保険制度ゼミナール開催の件	—
7	25	書面決議 新入会健保承認の件	—
8	3	書面決議 シニアの健康研究会セミナー開催の件	—
8	4	8月正副会長会議	本会事務所
8	16	書面決議 平成29年度第2回基礎知識研修会開催の件	—
9	1	9月正副会長会議	本会事務所
9	1	平成29年度第3回（9月）定例理事会 決議事項 ・ 特定保健指導応用研究会セミナー開催の件 ・ シニアの健康研究会セミナー開催の件 ・ 第16回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・ 第6回保険者機能推進全国大会発表者への参加枠割当の件 ・ 第6回保険者機能推進全国大会発表研究会決定の件 ・ オンラインストレージサービス導入の件 ・ 平成29年度第4回（11月）定例理事会開催の件	本会事務所
9	26	書面決議 新入会健保承認の件	—
10	13	書面決議 たばこ対策研究会によるシンポジウム補助金追加申請による予算変更の件	—
10	16	10月正副会長会議	本会事務所
10	18	書面決議 新入会健保承認の件	—
11	20	11月正副会長会議	本会事務所
11	20	平成29年度第4回（11月）定例理事会 決議事項	本会事務所

		<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度中間決算承認の件 平成30年度予算および会費の件 第7回保険者機能推進全国大会開催の件 平成30年度事業企画委員会の件 平成30年度研究会設置に係るアンケート実施の件 第16回医療保険制度ゼミナール開催の件 平成29年度第5回(1月)定例理事会開催の件 	
12	8	12月正副会長会議	本会事務所
12	21	平成30年度事業企画委員会	本会事務所
1	15	1月正副会長会議・平成30年度事業企画委員会合同会議	本会事務所
1	15	平成29年度第5回(1月)定例理事会決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業方針の件 平成30年度研究会活動及び平成29年度設置研究会の件 平成30年度医療保険制度ゼミナールの件 平成30年度基礎知識研修会の件 平成30年度常務理事ゼミナールの件 第7回保険者機能推進全国大会開催方針の件 平成30年度事務所休業期間の件 平成30年度事業実施基本スケジュールの件 レセプト・健診データ分析研究会オブザーバー参加の件 平成29年度第6回(3月)定例理事会開催の件 	本会事務所
2	13	2月正副会長会議	本会事務所
3	5	3月正副会長会議	本会事務所
3	5	平成29年度第6回(3月)定例理事会決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 第15回定時社員総会第1号議案(平成30年度事業計画案承認の件)の件 第15回定時社員総会第2号議案(平成30年度予算案承認の件)の件 第15回定時社員総会第3号議案(監事補充選任の件)の件 第15回定時社員総会報告事項(理事副会長辞任の件)の件 働く女性の健康に関する実態調査への協力に対する謝礼金の取り扱いの件 第16回および第17回定時社員総会開催日の件 新入会員承認の件 	本会事務所

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第17回・第18回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・ 平成30年度第1回基礎知識研修会開催の件 ・ 平成30年度第1回（4月）定例理事会開催の件 	
3	22	<p>第15回定時社員総会</p> <p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号議案 平成30年度事業計画案承認の件 ・ 第2号議案 平成30年度予算案承認の件 ・ 第3号議案 監事補充選任の件 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事副会長辞任の件 	電設健保会館 5階講堂

4. 重要な契約に関する事項

契 約 先	契 約 内 容	契 約 金 額	契 約 期 間
大竹リース株式会社	事務所賃貸借契約	月額 256,500 円	H29. 04. 01 から H30. 03. 31 まで
リコーリース株式会社	カラー複合機リース契約	月額 17,496 円	H30. 02. 01 から H35. 01. 31 まで
	電話機リース契約	月額 6,372 円	H26. 10. 01 から H32. 09. 30 まで
	フォーティゲート契約	月額 9,828 円	H27. 08. 01 から H32. 07. 31 まで
リコージャパン株式会社	B Bパック契約ルーター	月額 3,564 円	使用開始日 H27. 07. 30
	B Bパック契約 LAN フォルダ [®]	月額 7,344 円	H28. 03. 01 から H30. 02. 28 まで
	B Bパック契約 LAN フォルダ [®]	月額 5,400 円	H30. 03. 01 から H33. 02. 28 まで
株式会社法研	業務委託基本契約書 覚書		H27. 10. 01 から H30. 03. 31 まで
	レンタルサーバ・サービス契約	年額 440,640 円	H28. 04. 01 から H30. 03. 31 まで
	ウェブサイト保守契約	年額 259,200 円	H28. 04. 01 から H30. 03. 31 まで
株式会社大塚商会	たよれーる どこでもキャ ビネット	月額 10,800 円	H29. 10. 03 から H29. 11. 30 まで
	たよれーる どこでもキャ ビネット	月額 16,200 円	H29. 12. 01 から H30. 03. 31 まで

5. 財産状態及び正味財産増減の状況並びに収支の推移

(単位：千円)

区 分	第4期 平成25年度	第5期 平成26年度	第6期 平成27年度	第7期 平成28年度	第8期 平成29年度
資 産 合 計	5,443	7,977	7,399	7,272	7,305
負 債 合 計	239	124	404	124	161
正 味 財 産 合 計	5,204	7,853	6,995	7,148	7,144
経 常 収 益 計	14,889	15,805	15,250	16,205	17,169
経 常 費 用 計	13,230	13,086	16,038	15,982	17,104
当期一般正味財産増減 額	1,589	2,649	△858	153	△5
前期繰越収支差額	2,415	3,851	6,653	4,727	4,938
事業活動収入計	14,889	15,805	15,530	15,925	17,169
事業活動支出計	13,230	13,086	17,385	15,645	16,767
当期収支差額	1,436	2,802	△1,926	210	332
次期繰越収支差額	3,851	6,653	4,727	4,938	5,270

Ⅲ 本会の対処すべき課題

1. 「保険者機能の原点」を追求することについて

Iの「2. 定款に定める目的」に記載しましたとおり、本会は「良質な医療を確保する」「保険料を効率的に活用する」「保健事業に代表される健康づくりを推進する」の3点を保険者機能の原点と定め、これらの実施・実現が「保険者機能を推進する会」の使命であると考えてきました。しかし、ここ数年の本会の活動を振り返ってみると、研究会活動、シンポジウム・講演会・研修会、全国大会等、時宜を得たテーマを掲げて開催してきているものの、これまでの活動内容を踏襲して無難で安定的な守りの姿勢に入っているというご批判もいただいているところです。特に「良質な医療を確保する」という点についてはなかなか手が付けられずにいる分野となっています。今後、事業企画委員会等での検討を通じてその点の更なる活性化に向けて取り組みを進めていきます。

2. 広く世間に訴え掛ける活動について

保険者機能に対する認識を世の中に広げ、それを通じて本会の存在感を高めていくために、外部へのより強い情報発信力を持つことは重要な課題となっていると考えます。次の3点につき改善を図っていきたいと考えています。

① 外部チャネルの開発

本会が情報発信力を発揮するためには、新聞・出版・放送等、既存のメディアを活用することも重要なポイントとなります。これまで本会はこのメディアと各種交信を行った各担当者が取材者側の情報を管理してきましたが、本会がより漏れやムラのない情報発信が可能な体制とするべく、メディア関連情報を会として集約して集中管理していきます。

② 他の保険者との連携

会員外の健保組合や健保連だけでなく、協会けんぽ・国保中央会・後期高齢者広域連合等との交流を深めて、情報交換や問題意識の共有等を通じて本会の活動内容への理解を広げていくべく保険者として連携していきます。

③ WebおよびSNSの活用

Twitter に「保険者機能を推進する会」というアカウント (https://twitter.com/kino_suishin) を登録して当会の情報発信ツールとして活用していますが、なかなかフォロワー数が広がっていません。

また、公式ホームページに加えて一般の方によるアクセスを前提とした Facebook ページ (<https://www.facebook.com/kino.suishin>) も開設していますが、まだ十分なコンテンツが提供できていません。

今般、SNS の効果的な活用も広報を効果的に展開するにあたって重要な要素であると考え、当該内容につき検討を進めてまいります。

3. 政策提言について

本会の活動が会員内だけにとどまることなく、外部への影響力を持つことも保険者機能の推進のうえで重要と考えています。そのために平成27年度から医療保険制度ゼミナールを開始し、政策提言能力を持つ保険者の育成を図ってきました。また、保険者機能推進全国大会を開催することにより、会員外への情報発信も行ってきました。これらの取り組みをさらに大きな飛躍へと結びつけるためには、本会がイベントの企画・運営・遂行で満足することなく、積極的に外部への働きかけを行っていかなくてはなりません。通常の活動における医療や社会保障などの知識の習得をベースに、外部のチャンネルも利用して本会としての主張を発信する機会を持ち、そうした経験を積み重ねていくことにより政策提言へと繋げていくべく検討を継続いたします。

IV 決算期後に生じた本会の状況に関する重要な事実

特にありません。

平成29年度

計 算 書 類

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	平成29年度	平成28年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,430,973	5,061,598	369,375
流動資産合計	5,430,973	5,061,598	369,375
2. 固定資産			
無形固定資産			
ソフトウェア	673,920	1,010,880	△ 336,960
その他投資等			
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
固定資産合計	1,873,920	2,210,880	△ 336,960
資産合計	7,304,893	7,272,478	32,415
II 負債の部			
流動負債			
未払費用	54,000	54,000	0
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	37,020	0	37,020
流動負債合計	161,020	124,000	37,020
負債合計	161,020	124,000	37,020
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	7,143,873	7,148,478	△ 4,605
負債及び正味財産合計	7,304,893	7,272,478	32,415

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成29年度	平成28年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	13,826,000	13,093,000	733,000
受取一般事業収入	3,292,350	3,111,400	180,950
受取雑収入	50,578	1,077	49,501
事業収益	17,168,928	16,205,477	963,451
経常収益計	17,168,928	16,205,477	963,451
(2) 経常費用			
事業活動費			
総会費	968,888	760,900	207,988
事業費	4,598,817	4,639,103	△ 40,286
事業活動費計	5,567,705	5,400,003	167,702
管理費			
給与手当	3,823,572	5,035,654	△ 1,212,082
業務委託費	1,683,329	0	1,683,329
システム管理費	765,720	706,320	59,400
システム改善費	183,600	162,000	21,600
会議費	30,729	38,024	△ 7,295
交通費	9,594	19,820	△ 10,226
通信運搬費	241,993	270,471	△ 28,478
事務費	358,858	256,470	102,388
印刷費	234,179	225,408	8,771
水道光熱費	349,968	353,040	△ 3,072
レンタル費	281,556	280,584	972
事務所家賃	3,078,000	2,632,500	445,500
減価償却費	336,960	336,960	0
租税公課	10,600	48,000	△ 37,400
雑費	147,170	217,003	△ 69,833
管理費計	11,535,828	10,582,254	953,574
経常費用計	17,103,533	15,982,257	1,121,276
当期経常増減額	65,395	223,220	△ 157,825
税引前当期一般正味財産増減額	65,395	223,220	
法人税等	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	△ 4,605	153,220	△ 157,825
一般正味財産期首残高	7,148,478	6,995,258	153,220
一般正味財産期末残高	7,143,873	7,148,478	△ 4,605
II 正味財産期末残高	7,143,873	7,148,478	△ 4,605

正味財産増減計算書は企業会計における「損益計算書」に相当する。

財 産 目 録
平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	15,853
	預金	三菱東京UFJ銀行神田駅前支店 普通預金 定期預金	運転資金として 1,415,120 4,000,000	5,415,120
流動資産合計				5,430,973
(固定資産)	無形固定資産	ソフトウェア	ソフトウェア取得価額	1,684,800
			減価償却額累計	△ 1,010,880
	その他固定資産	事務所保証金	大竹リース㈱に対するもの	保険者機能を推進する会の事務所(東京都千代田区神田北乗物町11番地 乗物町第一ビル4階)賃借保証金として
固定資産合計				1,873,920
資産合計				7,304,893
(流動負債)	未払費用	金本敏男税理士事務所に対するもの	平成29年度分税理士報酬	54,000
	未払法人税等	千代田都税事務所に対するもの	法人住民税均等割	70,000
	預り金	神田税務署に対するもの	事務局の源泉徴収税分	37,020
流動負債合計				161,020
負債合計				161,020
正味財産				7,143,873

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1)リース取引

リース契約 1件当たりのリース料総額が 300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

(2)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税込経理方式によっている。

(3)ソフトウェアの減価償却

ソフトウェアは5年均等償却としている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 関連当事者との取引の内容

該当なし

4. 重要な後発事象

該当なし

収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成29年度 変更予算額	平成29年度 決 算 額	差 異	平成28年度 決 算 額	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 会費収入	13,726,000	13,826,000	△ 100,000	13,093,000	
(2) 一般事業収入					
臨時会費(総会)	720,000	849,000	△ 129,000	744,000	
臨時会費(事業)	2,207,500	2,443,350	△ 235,850	2,367,400	
(3) 雑収入		50,578	△ 50,578	1,077	
(4) 前受会費収入		0	0	△ 280,000	
事業活動収入計	16,653,500	17,168,928	△ 515,428	15,925,477	
2. 事業活動支出					
(1) 一般事業費支出					
総会費支出	720,000	968,888	△ 248,888	760,900	
事業費支出	4,557,500	4,598,817	△ 41,317	4,639,103	749,686円を管理費より振替
一般事業費支出計	5,277,500	5,567,705	△ 290,205	5,400,003	
(2) 管理費支出					
給与手当支出	4,300,000	3,823,572	476,428	5,035,654	476,428円を事業費へ振替
業務委託費	2,375,000	1,683,329	691,671	0	273,258円を事業費へ振替
システム管理費支出	1,212,800	765,720	447,080	706,320	
システム改善費支出	200,000	183,600	16,400	162,000	
会議費支出	40,000	30,729	9,271	38,024	
交通費支出	20,000	9,594	10,406	19,820	
通信運搬費支出	300,000	241,993	58,007	270,471	
事務費支出	260,000	358,858	△ 98,858	256,470	
印刷費支出	250,000	234,179	15,821	225,408	
水道光熱費支出	400,000	349,968	50,032	353,040	
レンタル費支出	350,000	281,556	68,444	280,584	
事務所家賃支出	3,078,000	3,078,000	0	2,632,500	
租税公課支出	50,000	10,600	39,400	48,000	
雑費支出	200,000	147,170	52,830	217,003	54,000円未払い計上
管理費支出計	13,035,800	11,198,868	1,836,932	10,245,294	
事業活動支出計	18,313,300	16,766,573	1,546,727	15,645,297	
事業活動収支差額	△ 1,659,800	402,355	△ 2,062,155	280,180	
前払金支出	0	0	0	0	
III 予備費支出	696,000	0	696,000	0	
IV 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	70,000円未払い計上
当期収支差額	△ 2,425,800	332,355	△ 2,758,155	210,180	
前期繰越収支差額	4,937,598	4,937,598	0	4,727,418	
次期繰越収支差額	2,511,798	5,269,953	△ 2,758,155	4,937,598	

収支計算書に関する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払金、未収入金、未払金、未払費用、前受会費、未払法人税及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,061,598	5,430,973
未収入金	-	-
合 計	5,061,598	5,430,973
未払金	-	-
未払費用	54,000	54,000
前払金	-	-
未払法人税等	70,000	70,000
預り金	-	37,020
合 計	124,000	161,020
次期繰越収支差額	4,937,598	5,269,953

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

(単位: 円)

科 目	予 算 額	科目間流用額	流用後予算額	付 記
総会費支出	720,000	248,888	968,888	臨時会費(総会)収入より充当 129,000円 会費収入より充当 100,000円 予備費より充当 19,888円
事業費支出	4,557,500	41,317	4,598,817	臨時会費(事業)収入より充当 41,317円
管理費-給与手当支出	4,300,000	△ 98,858	4,201,142	事務費支出へ流用 98,858円
管理費-事務費支出	260,000	98,858	358,858	給与手当支出より流用 98,858円
差 引	9,837,500	290,205	10,127,705	

(2) 予備費の使用

年度途中の予算変更により予備費とした会費収入の予算超過分より19,888円を総会費支出に充当

4. 平成29年度予算額の表示

平成29年度予算額の欄には、平成29年6月20日に開催された第14回定時社員総会および平成29年10月13日の理事による書面決議された変更予算額を表示している。

監査報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第8期事業年度における理事の職務の執行の状況、本会の業務並びに資産及び会計の状況を監査いたしました結果、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して理事及び事務局から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、正副会長会議資料などの重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類等は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しています。

平成30年5月21日

一般社団法人保険者機能を推進する会

監 事

井 崎 恵 介



監 事

熊 木 健 次

